

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（3号機使用済燃料プールからの燃料取り出し設備）に係る面談
2. 日時：平成28年12月8日（木）9時30分～11時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁原子力規制部  
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
熊谷補佐、伊藤特殊施設審査官、小野係員  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当7名

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、平成28年11月28日の面談におけるコメントの一部について、資料に基づき説明があった。
  - 遮蔽体の重量
    - ✓ 実施計画では18,000 tとしており、設置が完了した実績の重量は17,500 tである。
  - 燃料集合体移送作業中の遮蔽対策
    - ✓ 遮蔽水深を確保し水中で移送することができるようインターロックを設ける。
  - 燃料取り出し用カバーの設計で考慮する燃料取扱設備の荷重組合せ
  - 遮蔽体の滑動対策の検討に用いる水平震度
- 原子力規制庁から
  - 燃料取扱設備の耐震クラスを明示すること
  - クレーンの耐震性を弾性設計用地震動 Sd で評価することについて、クレーンが使用済燃料プール上にある期間やクレーンを使用する頻度の観点から、他の原子力発電所と比較して説明すること等を求めた。また、遮蔽体の滑動対策に用いる水平震度の算出方法について、実施計画に記載することを検討するよう求めた。

## 6. その他

資料：

- 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋使用済燃料プールからの燃料取り出し 実施計画に関するコメント回答
- 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋使用済燃料プールからの燃料取り出し設備コメント回答